

令和8年度いなべ市総合計画審議会 会議録

会 議 名	令和8年度いなべ市総合計画審議会
開催日時	令和8年8月21日（金）14:00～16:30
開催場所	いなべ市役所シビックコア棟 研修室2, 3, 4
出席者	【委員】20名 丸山康人（会長）、林伸一（副会長）、若林夏樹、田中佳奈、服部純子、東海林玲子、福本美津子、中村弘樹、一木尚子、小林久里子、位田あけみ、三輪孝、高木修司、山本たか代、瀬木光、伊藤六榮、伊藤章子、近藤雄司、岡本孝文、岡正光 欠席 嶋田義光、相田直隆 【事務局】18名 山下正史（副市長）、伊藤高道（総務部長）、大川洋海（都市整備部長）、松宮みどり（市民部長）、岡武史（環境部長）、伊藤幸宏（福祉部長）、寺尾あき（健康こども部長）、宮木崇年（農林商工部長）、石川義弘（建設部長）、寺本靖彦（水道部長）、太田東洋（教育部長）、三好宏尚（会計管理者）、日紫喜巖人（議会事務局長）、森川里佳、（企画部長）、小谷直仁（政策課長）、衆嶋幹人（政策課）、服部修（政策課）、石川千裕（政策課）
会議次第	1. 開会 2. 委員の委嘱 3. 副市長あいさつ 4. 会長あいさつ 5. 説明及び審議事項 第3次いなべ市総合計画・総合戦略施策取組経過報告について…資料 (1) 説明 (資料) 1 いなべ市総合計画と総合戦略の関係性 ～7 目標達成率の算出方法と達成率の判定基準) (2) 審議事項 (3) 取組経過報告 ・第1章 みんなでつくるまち ・第2章 「こどもまんなか」みんなで学ぶまち ・第3章 いつまでも笑顔で暮らせるまち ・第4章 自然と調和した快適で安心・安全なまち ・第5章 「にぎわい・愛着」創生のまち ・第6章 総合的取組事項 6. 委員の委嘱任期について 7. 閉会 企画部長
配布資料	資料…第3次いなべ市総合計画・総合戦略 施策取組経過報告書 当日資料…第3次いなべ市総合計画・総合戦略施策取組経過報告書の修正
公開、非公開の別	公開

議 事 概 要

1. 開会

2. 委員の委嘱

- ・農業委員会代表委員の交代に伴い、新任の農業委員会 瀬木光会長へ委嘱状を交付（山下副市長より）。
- ・委嘱期間は令和8年8月21日から令和9年3月31日まで。

3. 副市長あいさつ

4. 会長あいさつ

- ・毎週のように災害のニュースが続き、都市のあり方を考えさせられる。100ミリを超える降雨には性能が追いつかず、自治体の範疇を超えている。
- ・自治体で対応しきれない場合に市民同士がどのように連絡・協力していくか、日常のコミュニティのあり方が重要。市民と行政が協力する方法を常に考えてほしい。

5. 説明及び審議事項

（1）目次～K G I 説明

【政策課長】

資料 P 1 ～ P 22（P 17、P 18 を除く）について説明

【丸山会長】

皆さん意見等ありますか。

【高木委員】

いなべ公園と青川キャンプ場の利用が減少した大きな要因は何か。

【農林商工部長】

三重県の工事が9月以降にあったことと、夏の暑さによる利用減少が要因である。

【建設部長】

いなべ公園の入込客数は小学校・保育園の遠足利用が大半を占める。夏場の暑さが要因と考えられる。

【丸山会長】

（利用が減った分の）子どもたちはどこへ行っているのか。

【建設部長】

把握できていない。

【教育部長】

学校のこのため把握していないが、体育館に冷房が設置されたため、そちらで過ごしているのではないか。

【丸山会長】

気候変動への対応を考えていく必要がある。

【東海林委員】

暑さへの対応が必要。青川キャンプ場はこれまで予約が取れない状況であったが、知人がキャンセルにより予約が取れたと聞いている。入込客数減少への対策としても暑さ対策が必要である。

(2) 審議事項

【企画部長】

資料 P17(1)について説明

【福祉部長】

資料 P17(2)、P18(3)について説明

【丸山会長】

皆さん意見等ありますか。

【小林委員】(P18(3)について)

支援実施率は、必要な方には100%支援している数値だと思う。増減があっても、いなべ市で支援が必要な方が何人いたのか、どれくらいの人数が必要だったのかが分かるようにしたほうがよい。100%にならなかった場合は、その背景・原因を教えてほしい。

【福祉部長】

生活保護受給者への支援は難しく、心の病などの事情がある中でも寄り添いながら自立を促していく。自立者が増えれば目標値は下がる構造であり、社会情勢にも左右されるため目標設定が難しい。対象者一人ひとりに応じた支援ができるよう、実施率100%とした。

【伊藤(六)委員】(P17(1)について)

修正前はA・B、修正後はAの割合のみとなる。Aだけを抽出すれば数値は下がるはずだが、上がっているのはなぜか。

【政策課長】

18施策のうちA判定が13施策で77.7%と高い水準であった。初回の進捗管理で目標を上回ったため、これを踏まえて目標を段階的に高める形で設定し直した(標本数の違いによるもの)。

【中村委員】(P17(2)について)

令和7年度の社会福祉協議会・日下病院・いなべ総合病院それぞれの相談件数の内訳は。

【福祉部長】

社会福祉協議会本体3,377件、いなべ総合病院1,624件、日下(倉田)病院1,260件、合計6,261件である。

【福本委員】

医療相談として多いのか、総合相談としてなのか。カウントの仕方が分からない。

【福祉部長】

医療相談は基本的に除き、在宅生活に向けた介護相談・介護予防等に関する件数をカウントしている。

【近藤委員】

相談すべき人がまだ他にもいるため相談件数を増やすという趣旨の指標でよいのか。相談体制を拡充するのか、対応体制を強化するための数値目標なのか。

【福祉部長】

現在も十分に相談を受けているが、まだ相談に至っていない方もいるため、そうした方を拾い上げられるよう目標設定した。

【岡本委員】

6,500件分を受け入れる体制づくりということか。既にそれだけのキャパシティはあるのか。

【福祉部長】

キャパシティはある。実績をもとにした目標値である。

【中村委員】

相談件数が増えればよいというものではない。どの区域からどのような内容の相談があったかは統計として提出している。件数を指標として見える化すると、単なる相談件数の多寡になってしまう。障がい福祉計画等のアンケートによる満足度を見ていただくほうがよいのではないか。

【丸山会長】

総合計画においても満足度を見てはどうか。件数が増えるだけでは行政の目標達成にはつながらない。件数の増加が満足度の向上につながるような併記が必要ではないか。可能かどうか検討してほしい。

【小林委員】

P18(3)の支援についても、件数が増えることがよいのかという点でP17(2)と同じ考え方になるのではないか。

【企画部長】

検討する。報告書23ページ以降の外部評価欄などに、委員のご意見を表記していく。

【丸山会長】(P17(1)について)

菰野町が加入したことで進捗が変わったとのことだが、菰野町が加わったことで数値が増えたのか、施策項目数を減らしたことで増えたのか。

【政策課長】

元々35施策あったが、協定締結(議会議決)を得ていないものや、実質的に連携できていないものも含まれていた。3市町体制となったことを機に、真に連携できるものへ18施策に絞り込んだ。初めて進捗管理を行った結果、18施策中13施策が目標を達成していた。なお、教育部門では菰野町は三河地区、いなべ市・東員町は桑名地区に属しており、完全には一致しない部分もある。

【山本(たか代)委員】

定住自立圏について、市民は内容を理解できているのか。3市町で共有している具体的なビジョンを、数値だけでなく専門部門の指標や資料も添付して分かりやすく示してほしい。

【政策課長】

合併が落ち着き、人口減少・東京一極集中が進む中、合併はできなくても協力し合う枠組みである。昼間人口が夜間人口より多い市が中心市となっており、東員町と結ぶことでいなべ市は年間8,000万円、東員町・菰野町は2,000万円の交付金を得ている。互いの弱いところを補い合い、定住・活性化を図るものである。

【丸山会長】

広域で結ばれること自体が重要なのか、それぞれの課題解決が必要なのか。次回、施策項目を示し、広域連携によって解決したものが分かるようにしてほしい。

【岡本委員】

3市町のうち、いなべ市のみを切り取ったデータは出せるか。可能であれば出してほしい。

【政策課長】

いなべ市のみでも把握できる。承知した。

(3) 取組経過報告Ⅰ 第Ⅰ章～第Ⅲ章

【各部長】

資料 P23～P51(第Ⅰ章～第Ⅲ章)について部門長より施策の進捗状況を報告。市民満足度

調査による A・B エリアを中心に説明

【丸山会長】

今までの説明内容に関して質問をお願いします。

【林副会長】（P35 多機能トイレ設置数）

目標 24 件に対し実績 22 件となっている。予算の関係で未達となったのか。見直しは件数を減らすという意味か。

【教育部長】

令和 7 年度からの繰越工事が令和 8 年度も継続しており（阿下喜小学校等）、それを加えれば 24 件となる。見直しは減らすのではなく前倒しであり、すべての学校への設置を進める方針である。

【小林委員】（P25 Link アンケート）

目標を上回る回答があったことは市民の期待の表れである。結果を今後どのように施策へ反映していくか。

【企画部長】

全庁掲示板で全職員が確認できるよう共有し、取り入れられるものは反映していく。

（3）取組経過報告 2 第 4 章～第 6 章

【各部長】

資料 P51～P74（第 4 章～第 6 章）について部門長より施策の進捗状況を報告。市民満足度調査による A・B エリアを中心に説明

【丸山会長】

質問あればお願いします。

【伊藤(六)委員】（P51 歩道の設置延長、P65 グリーンベルトの設置延長）

担当部署は異なるが、学校の通学路及び学校関係の内容と重なっているように思う。それぞれ別のものなのか。

【建設部長】

歩道は車道に付帯して整備するもの。グリーンベルトは路肩部分にペイント等で色を塗るものであり、教育委員会から通学路としての要望が出た箇所を整備している。歩道については、阿下喜小学校方面に向けて、いなべ総合学園から駅までの区間で自歩道を設置している。通学路分と生活道路分とに整理して掲載している。

【伊藤(六)委員】

グリーンベルトは自転車用の設備か。

【建設部長】

そうではない。歩道が整備できない道路に設置するものであり、自転車は車道を通行することになる。

【三輪委員】（P51 北勢線利用者数）

ナローゲージを JR 規格に改良すれば中古車両が使用できると思うが、費用はどれくらいかかるのか。

【都市整備部長】

ナローゲージの両端に広い線路を敷設することを想定している。基礎調査の段階であり、線路

のみの費用は算出していない。3モードの概算は、現状維持120億円、広軌化190億円、BRT 270億円である。駅舎の高さ調整等も必要となる。

【三輪委員】

北勢線は文化的価値が高く、来訪者もある。しかし市のバスと駅が直結しておらず不便であり、桑名まで3時間かかる。ダイヤ・接続の精査をしてほしい。

【丸山会長】

今年度から公共交通の検討会がある。いただいた意見を踏まえて検討し、報告してほしい。

【岡委員】

公共交通の利便性は満足度調査で最も低い項目である。新たな手法が必要。導入までのスケジュール感を教えてほしい。

【都市整備部長】

福祉バスの運営形態（オンデマンド化、有償化・受益者負担、路線見直し等）を検討中である。市民への影響が大きいため、市民対話を重視し、合意を得ながら進めたい。スケジュール感はなるべく示していく。

【岡委員】

非常に重要な施策である。

【丸山会長】

公共交通と空き家対策は全国共通の課題である。

【東海林委員】（P27 3歳未満児入所者数、P29 子育て支援センター利用者数）

子どもの数が減っていることを踏まえた目標か。出前ひろばの効果は低いのではないか。ウェルビーイングの評価として3歳未満児入所者数だけでは不十分であり、自然保育の指標も加えてはどうか。

【健康こども部長】

支援センターの目標値（年間3万人）は維持したい。来所されない方についてはその理由を把握するため訪問している。自然保育については、子ども・子育て計画等の下位計画において目標設定し検証していきたい。

【近藤委員】（P57 資源ごみ搬入量）

資源ごみが減少している要因は何か。

【環境部長】

年度後半に向けて分析を進める予定であり、現時点では分析していない。

【丸山会長】

今後分析し、報告できるようにしてほしい。

【伊藤(六)委員】（P71 にぎわいの森来場者数、）

同じ指標が2つあるのはなぜか。

【企画部長】

総合的取組事項として特出しし、再度計上しているためである。

【近藤委員】（P61 防災講演受講者数）

目標を下回っている。広報活動の評価はどのように行っているか。

【総務部長】

広報活動そのものの評価は行っていない。

【近藤委員】

広報の取り組み方についても、今後の方向性に加えてほしい。

【丸山会長】

実際にはどのような広報を行っているか。

【総務部長】

スーパーでのビラ配布、企業への周知等を行っている。

【丸山会長】

広報活動についても検討してほしい。

【三輪委員】（P38 市民祭作品出店者数）

今後の方向性・改善措置等の欄に「芸術文化協会を通じて新規参加者を確保する」とあるが、文化協会への丸投げではないか。出展者は高齢化しており、藤原文化センターも改修中で環境が厳しい。若い世代が入りにくく、技術も必要である。

【教育部長】

丸投げではなく、芸術文化協会と話し合って取り組んでいきたい。

【丸山会長】

状況が変化しているため、今後の案を示し、理解を得たうえで再度検討してほしい。

【丸山会長】

報告書の表記の仕方（ページが飛び飛びで追いにくい点）についても検討してほしい。

6 委員の委嘱任期について

【政策課長】

委嘱期間は3年間であり、年度末をもって委員の任期満了となる。本審議会は今年度をもって終了予定である。

本日いただいたご意見は、外部評価に反映していく。

【副市長】

任期満了にあたりお礼を申し上げる。来年度以降、再任をお願いする場合は快くお引き受けいただきたい。

7 閉会

その他事項

・無し